

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

1 がん予防

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
たばこ対策の強化 ・喫煙による健康被害についての普及啓発の推進 ・喫煙をやめたい人への禁煙支援 ・受動喫煙の防止	○ たばこ対策推進事業 【禁煙宣言1万人キャンペーン】 ・ インターネットの禁煙支援サイト「禁煙マラソン」により、応募者に対する禁煙支援を実施	■ 「禁煙マラソン」による禁煙支援 ➢ 現在まで応募のあった者に支援プログラムを実施 ➢ 継続して参加者募集中	■ 「禁煙マラソン」応募者 ➢ 133人
	【禁煙サポート促進モデル事業】 ・ 協会けんぽが行う企業や従業員への禁煙指導により、従業員の禁煙外来に係る費用の一部を、県が企業へ助成	■ 協会けんぽが行う企業や従業員への禁煙指導により、禁煙外来への受診勧奨を実施 ➢ 協会けんぽと連携し企業へ依頼（10事業所350人を目標）	
生活習慣の改善 ・ 良好な生活習慣の実現に向けた普及啓発 ・ 保健指導の充実	○ 栄養・食生活の改善 ・ 「減塩サミットin広島」を開催し、県民に実践的な減塩方法を啓発 ・ 実際の取組の展開について協議するため関係団体、有識者等による食育推進会議等を開催 ・ 減塩に取り組む飲食店や商品に対し、県が認証を行う仕組みについて、減塩推進ワーキング会議を開催し検討	■ 「減塩サミットin広島2014」を共催により開催 ➢ 5/24・25 広島市内で開催 来場者数 16,700人 ■ 食育推進会議開催予定(1回) ■ 減塩ワーキング会議開催予定(4回)	■ 「食育推進全国大会」の開催(6月) ➢ 内閣府等との共催(来場者数27,400人) ■ 食育推進会議の開催(8月) ■ 減塩の実践を支援する取組の重点実施 ➢ ひろしま食育ウィーク(10/13~19)を中心とした期間に重点的に実施
	○ 県民の健康づくり対策 ・ ひろしま健康づくり県民運動推進会議を通じて、生活習慣病対策の大切さを県民に伝え、それを支える地域の環境整備等について検討	■ 生活習慣病対策関連健康講演会、出前講座等を開催 ■ 四季の健康レシピの作成 ■ ひろしま健康づくり県民運動推進会議ホームページでの情報発信	■ ホームページを開設(H25.9~)し、健康づくりに関する情報発信を強化 ■ 日常生活圏域ごとのウォーキングコースを設定 ➢ 市町と連携して95圏域でコースを設定
	○ 健康生活応援店の推進等 ・ 県民の健康づくりを応援する店舗を認証し、健康的な生活の推進と健康に配慮した環境整備を図る	■ 健康生活応援店の普及拡大	■ 飲食店等へ禁煙・分煙を推進するため、県保健所が個別訪問 ➢ 訪問店舗数 291店舗
	○ 特定健診・特定保健指導に関する人材育成 ・ 広島県保険者協議会と共催し、特定健診・特定保健指導従事者を対象に研修会を実施し、効果的な健診・保健指導が実施できる人材を育成	■ 研修会の開催 ➢ 基礎編1回、技術編2回、評価編2回	■ 研修会の開催 ➢ 基礎編1回、技術編2回、評価編2回

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

1 がん予防

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
感染症対策の強化 ・肝炎に対する正しい知識の普及啓発 ・肝炎ウイルス検査の受検促進 ・病態に応じた肝炎医療の提供	○ ウイルス性肝炎対策 【肝疾患コーディネーターの養成・活用】 ・市町の保健師・企業の健康管理担当者に対し、肝炎に関する研修を実施し、肝炎患者等の適切な治療をコーディネートできる者を養成	■ 肝疾患コーディネーター養成講座の開催(9～10月) > 2回, 計 200 名参加予定 ■ 肝疾患コーディネーター継続研修の実施(10月) > 3回予定 > 対象: 既に「肝疾患コーディネーター」の認定を受けた者	■ コーディネーター養成講座の開催 > 講座2回, 計 132 人認定 ■ コーディネーター継続研修の実施 > 研修会2回, 計 111 人受講
	【産業医研修】 ・職域における衛生教育を通じ、肝炎に関する正しい知識の普及啓発等を図るため、産業医への研修を実施	■ 肝炎に関する産業医研修の実施 > 2回開催(11月)	■ 産業医研修 > 4回開催, 86 名受講
	【肝炎重症化・肝がん予防推進事業】 ・肝疾患患者フォローアップシステムを活用した肝炎ウイルス陽性者の受診動向の把握, 継続的な受診勧奨及び定期検査費用等の助成により, 肝炎重症化・肝がん移行を予防	■ 医療機関へのPR > 肝疾患診療連携拠点病院等連絡会において, 肝疾患専門医療機関に対し事業への協力を依頼 (6/23) ■ 県民へのPR > 県民を対象とした肝炎に関する講習会を開催(7/27)し, 事業内容を周知 ~参加者 104 名 ■ 協会けんぽ広島支部との連携 > 協会けんぽが実施する肝炎ウイルス検査で判明した陽性者に対し, 「広島県肝疾患患者フォローアップシステム」への登録を勧奨	■ 平成25年4月から肝疾患患者フォローアップシステムの運用開始 > 登録者数 109 名 ■ 関係機関等を対象とした説明会の開催 > 医療機関(9月, 2回) 市町, 県保健所(11月) 検診機関(12月)

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

2 がん検診

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
<p>がん検診の精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果の高いがん検診の実施 ・がん検診に対する理科の促進 	<p>○ がん検診精度管理推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町が実施するがん検診の精度向上のため、専門家による 評価や市町担当者等への研修実施 ・がん検診結果報告に係る県標準様式の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ■がん検診従事者研修実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢市町従事者(8/27), 乳がん(11/14) ■専門家による評価会議の実施(1月ごろ) ■市町対象の精度管理講習会(2月ごろ) ■胃・大腸がん検診結果報告様式の検討 WG(2 回程度) 	<ul style="list-style-type: none"> ■がん検診従事者研修実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 胃がん(10/21)受講者 120 人 肺がん(11/17)受講者 28 人 ■専門家による評価会議の実施(2/4) ■市町対象の精度管理講習会(2/28)
<p>がん検診の受診率向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診実態の把握 ・普及啓発の推進 ・個別受診勧奨の推進 ・受診しやすい環境づくり 	<p>○ がん検診受診率向上対策</p> <p>【がん検診普及啓発強化事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な社会資源を活用した効果的な情報発信など、「がん検診」への関心を呼び起こす全県的な啓発キャンペーンを展開 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■がん検診啓発特使による啓発イベント実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢福山ばら祭り出演(H26.5.18) ～ローズパレード, 会場ステージでのPR ➢マツダスタジアムのカープ公式戦(H26.9.11 予定) ～始球式, 球場内でのPR ■閣下ダイヤル開設 <ul style="list-style-type: none"> ➢「デーモン閣下」自らの声で案内し, 市町のがん検診窓口まで誘導するナビダイヤル「閣下ダイヤル」を開設 ・運用開始:平成 26 年 5 月 19 日～ ・受付期間:平日の午前 9 時～午後 5 時(土・日・祝日・12/29～1/3 を除く) ■がん検診啓発ポスター, チラン等の作成, 配布 ■「がん検診へ行こうよ」推進会議会員の独自啓発事業 等 	<ul style="list-style-type: none"> ■啓発イベント実施 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 広島市中心部商店街の祭「ゆかたできん祭」(H25.6.7) ➢ マツダスタジアムのカープ公式戦 (H25.9.15) ■がん検診啓発ポスター等作成, 配布 ■がん検診啓発の新聞広告(H25.6.1) 等

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

2 がん検診

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
がん検診の受診率向上	【がん検診個別受診勧奨支援事業】 ・市町が行う受診勧奨・再勧奨への支援や、地域ボランティアの活用など、きめ細かな個別受診勧奨を実施	■市町の個別受診勧奨に対する経費及び資材支援 >対象を「40～69歳・国民健康保険加入者・大腸がん検診未受診者」に重点化し、電話や郵送等による勧奨を強化 ■「デモ閣下から届く個別受診勧奨ハガキ」の送付 >県、市町、協会けんぽ協働事業として、閣下ハガキを未受診者に送付(H26.7～) ■がん検診推進員の養成 >市町のボランティア等を推進員として養成し、地域や職場の様々な場面で対面での受診勧奨を実施 ・研修7回実施、計177人養成(H26.8末現在)	■市町の個別受診勧奨に対する支援 ■がん検診啓発特使からの個別受診勧奨 >「がん検診啓発特使から届く個別受診勧奨ハガキ」を送付(約17万5千通) ■がん検診推進員の養成 >研修26回、計858人養成(24～25年度累計2,974人)
	【がん対策トータルサポート事業】 ・がん対策全般に積極的に取り組む企業を「Teamがん対策ひろしま」として登録・公表し、民間企業における予防・検診の普及啓発、就労支援等の取組を促進	■登録企業の募集(4/22～6/30)を行い、第1期目として14社を登録(H26.7.17) >各登録企業の取組等は別紙(参考資料)のとおり	■「Teamがん対策ひろしま」登録企業制度の検討、制度設計
	【がん検診・がん予防に関する職域出前講座】 ・企業におけるがん予防・がん検診受診の推進に向け、従業員・健康管理担当者向け出前講座を実施	■企業等への出前講座の実施(H26.9～) >従業員向け 30か所予定 >健康管理担当者向け 8回予定	■企業への出前講座の実施(H25.9～) >実施事業所数 27か所
	○ がん検診受診実態調査事業 ・県内医療機関に対する検診受診者数調査の実施、主要検診機関から検診の受診傾向を把握	■調査開始予定(H26.9末頃～) >県内全ての医療機関(約2,400施設)を対象に、平成25年度のがん検診の受診者数を調査	■調査実施(H25.9～H26.1) >医療機関2,404施設を対象に、平成24年度の受診者数を調査(回収率93.4%)
	○ がん対策サポートドクター・がん検診サポート薬剤師実施事業 ・身近なかかりつけ医や薬剤師を「がんよろず相談医」・「がん検診サポート薬剤師」として養成し、検診の受診勧奨やがん医療ネットワークへの適切な紹介等を実施	■サポートドクターの養成 >今年度中に3回予定 (H26.8現在:研修1回実施、計31人養成) ■サポート薬剤師の養成 >今年度中に3回予定 ■研修修了後の活動支援手法等について検討	■サポートドクターの養成 >研修5回、計131人養成(H24～累計558人) ■サポート薬剤師の養成等 >研修4回、計62人養成(H24～累計307人)

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

3 がん医療

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
医療提供体制の充実強化 ・がん診療連携拠点病院の機能強化 ・医療提供体制の充実 ・人材育成	○ がん医療ネットワーク機能強化事業 ・ 5大がん(乳がん, 肺がん, 肝がん, 胃がん, 大腸がん)の医療ネットワークの普及・機能強化	■ 圏域地对協との連携強化及び情報共有を図り, 各圏域における取組を強化するなど推進体制を構築 ■ 肺がん早期発見体制の構築事業の実施 > 肺がんCT検診従事者講習会 (2回) > 技術ワークショップ(4か所)で開催(9~11月)	■ 医療機関を対象にがん医療ネットワーク説明会の実施(広島西・尾三・備北圏域) ■ 「わたしの手帳(地域連携パス)」の作成・配付(肝がん, 胃がん及び大腸がん) ■ 肺がんCT検診従事者講習会 > 県内6か所で開催
	○ 小児がん医療の連携と集約化の推進	■ 広島大学病院(小児がん拠点病院)において, 中四国各県の連携病院による「小児がん中国・四国ネットワーク会議」を開催 > 毎月定期的に会議を開催	■ 広島大学病院において, 「小児がん中国・四国ネットワーク会議」を発足 > 7月から月1回テレビ会議開催
	○ がん診療連携拠点病院機能強化事業 ・ 地域における「がん診療連携」の円滑な実施を図るとともに, 質の高いがん医療の提供体制を確立 ・ 新整備指針に基づく「がん診療連携拠点病院」の指定更新(H27.4.1 指定予定)	■ がん診療連携拠点病院が行う機能強化事業に対する補助 <<機能強化事業の内容>> ・ がん医療従事者の育成 ・ 拠点病院間の連携 ・ 院内がん登録の実施 ・ 相談支援センターの設置 ・ 在宅緩和ケア地域連携体制の構築 ■ がん診療連携拠点病院の指定手続き(10月末)	■ がん診療連携拠点病院が行う機能強化事業に対する補助
医療内容等の充実 ・放射線療法, 化学療法, 手術療法の充実 ・病理診断の充実等	○ 高精度放射線治療センター(仮称)等整備事業 ・ 高度ながん治療を行う「高精度放射線治療センター(仮称)」の建築工事の推進及び運営体制の構築 ・ 放射線治療を担う人材の育成, 医療情報ネットワークの構築等	■ 建築工事の着実な進展 ■ 運営体制の構築 > 平成27年秋の開業に向けての運営準備 ■ 高精度放射線治療装置 3台決定 ■ 高精度放射線治療センターに係る広報(医療関係者, 県民等)の実施	■ 工事着手 > 契約締結日: 平成25年9月27日 ■ 運営準備 > 広島県医師会及び4基幹病院医療スタッフとの検討

平成がん対策の分野別施策の取組状況（平成26年度）

4 緩和ケア

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
<p>施設緩和ケアの充実</p> <p>・提供体制の充実 ・質の向上</p>	<p>○ 施設緩和ケア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内医療機関の緩和ケアチーム及び緩和ケア病棟の活動実績を把握・評価・公表する仕組みづくり ・ 医療従事者等を対象とする研修会の実施 	<p>(緩和ケアチーム)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「緩和ケアチーム等連絡協議会」における協議 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 緩和ケアチームの活動把握・評価・公表する仕組み、人材育成の手法等 ■緩和ケアチーム従事者研修会を開催(1月) <hr/> <p>(緩和ケア病棟)</p> <ul style="list-style-type: none"> ■「緩和ケア病棟連絡協議会」における協議 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 緩和ケア病棟の活動把握・評価・公表する仕組み、人材育成の手法等 ■緩和ケア病棟従事者研修会(2月) ■緩和ケア病棟看護師研修(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> ■「緩和ケアチーム等連絡協議会」での検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 協議会2回, WG2回開催 ■緩和ケアチーム従事者研修会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 研修会1回(2月), 48名受講 <hr/> <ul style="list-style-type: none"> ■「緩和ケア病棟連絡協議会」を設置し、活動把握の仕組み等について検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 協議会2回, WG2回開催 ■緩和ケア病棟従事者研修会の開催 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 研修会(1月), 51名受講 ■緩和ケア病棟看護師研修の開催 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 研修会(3月), 23名受講

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

4 緩和ケア

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
<p>在宅緩和ケアの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護・福祉の顔の見える関係づくり ・在宅緩和ケアCOの配置による連携強化 ・介護保険施設での緩和ケアの推進 ・通院治療を受ける患者・家族への支援等 	<p>○在宅緩和ケア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院と在宅医療の相互連携, 多職種連携, 医療と介護の連携などを円滑に進めるための仕組づくり(ネットワーク会議, 在宅緩和ケアコーディネーターの配置, 資源マップ作成, 地域連携パス検討等) ・緩和ケア従事者研修会の実施 	<p>■「地域在宅緩和ケア推進協議会」における協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢在宅緩和ケアコーディネーター配置のあり方, 資源マップの県共通モデルの作成等 <p>■施設緩和ケア, 在宅緩和ケアの連携推進を目的とした研修の実施(11月)</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■モデル地区における実践活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢顔の見える関係づくり, ネットワーク会議の開催, 在宅緩和ケアコーディネーターの配置, 資源マップ作成, 地域連携パスの検討等 ➢実施団体 H25～(東広島地区医師会, 厚生連広島総合病院) H26～(三次中央病院, 安佐市民病院, 福山市医師会) 	<p>■「地域在宅緩和ケア推進協議会」での検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢協議会2回開催(8月, 3月) <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>■2地区でモデル事業実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢実施地区(実施団体) ・東広島地区(東広島地区医師会) ・佐伯地区(厚生連広島総合病院)
<p>人材育成の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種人材育成の充実 ・緩和ケア研修の質の充実 	<p>○緩和ケア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種の人材育成を図るため, 職種別専門研修を実施 	<p>■専門研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢緩和ケア医師研修の「フォローアップ研修」 ➢在宅ケアチーム, 薬剤師, 看護師, 介護支援専門員・地域連携職種, ヘルパー・介護員対象の研修を継続実施 ➢緩和ケア先進医療機関への医師派遣研修(予定3人) ➢緩和ケア人材育成検討会(2回予定) 	<p>■専門研修の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢医師研修フォローアップ 36人 ➢在宅ケアチーム48人, 薬剤師28人, 看護師253人, 介護支援専門員等137人, ヘルパー等70人 <p>■緩和ケア人材育成検討会の開催</p>
<p>緩和ケアに対する正しい理解の促進</p>	<p>○緩和ケア推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民や医療・保健・介護従事者の理解を深めるための講演会等を実施 	<p>■県民向け講演会(広島1回(9月), 福山実施検討中)</p> <p>■施設職員講演会(10月)</p>	<p>■県民向け・施設職員向け講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢3地区で開催(三次市, 広島市, 東広島市) 参加者計1,235人

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

5 情報提供・相談支援

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組
がんに関する情報提供 ・多様な主体と連携した情報提供の推進 ・「広島がんネット」の充実等	○がん患者・家族支援事業 ・県内の医療施設の医療資源や治療成績など、がんに関する様々な情報を公表（「広島がんネット」更新など）	■「広島がんネット」による情報提供 >アクセス件数 H26.4～8月 平均 6,824 件/月 ■「がん患者さんのための地域の療養情報サポートブック」の改訂・配布 >情報を更新し、がん診療連携拠点病院等を通じて配布予定	■「広島がんネット」アクセス件数 > H25 年度年間 71,827 件 平均 5,986 件/月 ■「がん患者さんのための地域の療養情報サポートブック」の改訂・配布 > 発行部数 13,000 部
がん患者・家族等への相談対応 ・相談支援体制の充実 ・ピア・サポートの充実 ・相談支援センター等の広報強化等	○がん患者・家族支援事業 ・広島がんサポートに委託して、電話相談窓口「がん患者フレンドコール」を設置	■週2回の電話相談実施 >相談件数 H26.4～7月 計 48 件（平均 12 件/月）	■フレンドコール相談件数 > H25 年度年間 163 件、平均 13.6 件/月
	○ 広島県ピア・サポート相談員（仮称）養成事業 ・がん患者等の相談支援を行うがん経験者等をピア・サポーターとし養成する研修の試行実施、プログラムの検討	■平成25年度に整理したプログラムによる試行研修を実施予定	■研修プログラム案の検討、作成 > 検討会(WG等含む)7回開催
	○ 相談支援センター機能強化支援事業 ・がん診療連携拠点病院の相談支援センター利用者アンケートの実施により、患者・家族の声を反映した取組を推進	■相談支援センターにおけるアンケート実施 >実施期間 平成26年7月24日～9月26日 >実施施設 県指定を含む全16拠点病院	■アンケート内容等の検討 ・誘導経路、利用目的、満足度 ・自由記述による意見・要望 など
がん教育 ・子どもの頃からの正しい理解に向けた取組推進	○ 子ども向けがん出前講座事業 ・教職員に対する研修会の実施 ・子どもを対象としたがん出前講座の実施	■保健主事研修会等を活用して、がん教育の必要性等について研修を実施(6月、7月) ■教科外教育活動等において出前講座を実施	■教育委員会との連携 ■実効力のある教育活動につながる取組を検討
がん患者・経験者等の就労支援 ・働きやすい職場環境と相談支援体制づくり等	○ がん患者等就労支援事業 ・がん患者等が仕事と治療の両立ができるよう、民間企業等を対象とした就労支援に関するセミナーを開催	■平成25年度に作成した啓発資料等を活用して、企業向けの就労支援セミナーを開催予定(H27.1)	■啓発資料「経営者の皆様だからできること～がんになった従業員に対する“就労支援”のすすめ～」を作成 > 県内企業3,000社を対象とした調査実施

平成26年度がん対策の分野別施策の取組状況

6 がん登録

取組項目・対策	主な事業・実施内容	26年度の取組状況・方向性	(参考)25年度の取組状況
<p>がん登録の精度向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録届出数の増加 ・登録担当者の資質向上 等 	<p>○ 地域がん登録システム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録データを活用した効果的ながん対策の実施に向けた環境整備 	<p>■ 地域がん登録の届出の受理</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 医療機関からの届出件数：16,667件(H26.1.1～7.31) 	<p>■ 地域がん登録の届出の受理</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 届出件数 28,623件(H25.1.1～12.31)
<p>がん登録データの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生存率の情報公開 ・登録データの活用 等 		<p>■ がん登録届出実務に関する説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成27年1月～2月に開催予定 	<p>■ がん登録届出実務に関する説明会</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 3回開催, 51施設 89名参加
<p>県民への情報提供と理解促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わかりやすい情報提供 		<p>■ 県内のがん罹患や死亡の状況をまとめた報告書の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「平成23年集計」を作成中 <p>■ 県民向け広報資料の作成</p> <p>■ 全国がん登録への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 平成26年11月頃 政省令公布予定 ➢ 国立がん研究センターにおいて、全国がん登録データベース等開発中 ➢ 都道府県がんデータベースのあり方等について検討 	<p>■ 報告書「広島県のがん登録」の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 「平成21年・22年集計」を作成 ➢ 部位別5年相対生存率の算出, 公表